

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月4日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103920
法人名	社会福祉法人 陵風会
事業所名	グループホーム 西谷山
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5604番地 (電話) 099-260-1343
自己評価作成日	平成26年10月1日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・共同生活において明るい家庭的な雰囲気の中で、日常生活のお世話及び生活リハビリを行うことにより利用者がその有する能力に応じた生活ができるよう明るい笑顔の絶えない雰囲気作りを念頭において運営を行っています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年2月25日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は周囲に保育園や小・中学校、市営住宅、コンビニエンスストア、無人野菜販売所などがあり、散歩や買い物の際には挨拶や会話をし、地域住民とふれあいながら生活できる環境にある。

・町内会に加入し、地域行事や清掃に積極的に参加している。小学生が育てている「ふれあい農園」の野菜が届いたり、家族からの差し入れが届くなど日常的に交流している。小学校で認知症についての講演依頼を受けたりして、地域に根ざした交流を行っている。

・協力医療機関との連携が図られ、緊急時の対応などの医療連携が整っている。

・理念を大切に「目配り、気配り、心配り」をモットーに、管理者や職員が協力して利用者の気持ちに寄り添い、サービスを提供できるよう努めている。

・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員育成に力を入れて、福利厚生も充実している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に根差した理念を掲げ、朝礼時に全員で唱和することで、理念を共有し、利用者に接することの大切さを確認している。	地域との関連性を重視した独自の理念を作り上げ、リビングやスタッフルームに掲示している。毎朝礼時に唱和し、具体的なケアについて理念に沿った内容の実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へ加入しており、地域の行事（十五夜・奉仕作業など）に参加し、交流を図っている。近隣の方々とは、気軽に声かけし、普通に接している。	町内会に加入し、十五夜などの地域行事や清掃活動に積極的に参加している。散歩や買い物の際には挨拶や会話を楽しんでいる。小学生との交流や中学生の職場体験学習・高校生の実習・ボランティアの受け入れなど、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	小学生の学習、中学生の職場体験学習の受け入れ、また人材育成の貢献として、高校生の実習など積極的に受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの内容や現状報告、外部評価についての説明や結果報告を行ない行政・地域の方々の意見や助言を頂き、サービスの向上に活かしている。	会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価などの報告を行い、意見交換をしている。会議での情報や提案を職員で共有して、具体的なサービスに活かしている。参加者からの助言で、避難用スロープが設置されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村とは、常に連携を図り、現状報告や相談や助言・指導を頂き、問題解決に取り組んでいる。	市担当者とは日頃から連携を取り、事業所の実情やサービスの取り組みを伝え情報やアドバイスを得ている。地域包括支援センターとは運営推進会議を通して協力関係ができています。生活保護担当者とも細かに連絡し合っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルがあり、職員は定期的に行う勉強会等で身体拘束の有無を確認するとともに、日々の介護の中で勉強しており、具体的な行為を理解している。	「身体拘束廃止マニュアル」を基本に定期的に勉強会を実施し職員の共有認識を図り、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し支援している。昼間の玄関は施錠せずに職員の連携で安全で自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	認知症高齢者の身体的・精神的な理解を深めるための勉強会を設けている。入浴時や更衣介助の時など身体確認を行ない、見過ごされることがないように注意を払い、全員で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護については、学ぶ機会を持ち、成年後見制度の適用の必要がある場合は、すぐに連携のとれる体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に運営規定や重要事項の説明を行ない、確認を頂いている。契約の締結・改定等の際は、文書で説明・疑問点については十分な補足・説明の上、理解と納得を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>第三者委員などに相談できるように説明し、玄関受付に意見箱も設置している。また、利用者の意見・不満・苦情等に傾聴し納得のいく解決法を探している。ご家族へも来所時や便りなどを利用し、声を聴けるように心がけている。</p>	<p>日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。利用者からは日々の関わりの中で、家族からは、面会や家族会・運営推進会議をよい機会として懇談をしている。遠方や面会に来られない家族には電話や便りを出して意見を求めている。出された意見や要望には解決に向け取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議・朝礼・カンファレンスにて意見を交換し、運営に反映している。また、そこで出た問題点など職員全員で話し改善している。又、職員より日頃から意見や要望等を言いやすい雰囲気で行なっている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り、朝礼や職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。職員のレベルアップに向けた資格取得の支援も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	和気あいあいとした、働きやすい雰囲気作りに努めている。また、職員の資格取得に向けた支援を行うとともに、職場環境・条件の整備に努めている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	研修会などに積極的に参加し、サービス及び知識の向上に取り組んでいる。新入職員に対しては、入職後研修も行い、介護の経験が無くても職員間で協力し合い経験のある職員が育成に努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	定期的に研修会に参加し、交流の機会をつくり、共通の悩みや質の向上に向けて情報交換など行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人を始め、ご家族・関係事業者から生活歴や傷病、自宅での過ごし方など詳細に情報を集め、本人様の求めている事や不安を理解し、共有する事によって安心を確保する為の関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時にご家族の思いを傾聴することはもちろん、面会の際には日頃の様子を伝え些細なことにも相談しながら、ご意見や要望を伺えるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としているサービスが困難なケースも相談を受け必要に応じて各関係機関に相談し、調整等対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活のあらゆる場面において、出来ること・出来そうなことを一緒に行ない、共に支え合う関係を築く努力をすると共に穏やかな生活が出来るような場面作り・声かけを行なっている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会・家族会・行事などに参加して頂き、日頃の暮らしの様々な出来事を伝え、家族と一緒に情報を共有し支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の都合にも配慮しながら協力を頂き、外出等継続できるよう支援している。馴染みの方々の訪問の際には、くつろげる場所を提供し、ゆっくりと過ごして頂けるよう支援に努めている。	馴染みの友人や知人の訪問を奨励し、関係を継続できるように働きかけている。行きつけの理・美容院や買い物店との交流・墓参などにも支援している。家族の協力で外出や外食なども行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者個人々の性格や関係を把握し、楽しく会話出来るよう座席を工夫したり、利用者同士の交流を手伝いながら、関わり合える機会を設けるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	次のサービス事業所に情報を提供したり、退居後も見舞いなどに出掛け、必要に応じて相談や支援に努め継続的な付き合いができるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常にご本人のご意見を踏まえたケアを行うようにしている。本人の意向が直接聴き取り難い場合でも、しぐさや言動などからご本人の意向を考えケアに取り入れられるように考えている。	日々の関わりの中でボディタッチやコミュニケーションを図り、言葉やしぐさなどから思いや意向の把握に努めている。把握が困難な場合は、家族や職員間で話し合い、利用者本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの個人情報を集約し、分析を行ないカンファレンス等で全員が把握できるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの暮らし方・思いを尊重し、意思表示の困難な方は、表情や様子に注意を払いながら、その場の状況を観察し、職員間で柔軟な支援が行われるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の思いや意向に添うケアの方法を常に職員間で話し合い、介護計画に反映している。状態に変化がある場合には、新たに本人・家族等と話し合い見直しを行なっている。	本人や家族の意向を確認し、職員や主治医の意見を反映させ介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にニーズに沿った内容を記録している。また気づき・体調不良の変化も記録し、食事・水分量・排泄につき等も把握し状態変化にその都度対応している。申し送りなどでも情報の共有に努め介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者の方の状態・状況はそれぞれであるため、常にご家族・職員を含めた話し合いと研修心を持ち、ニーズに対応していきたいと思っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問美容サービスなど活用している。包括支援センター・民生委員など協力を得ながら支援を行っている。特にボランティアの皆様による踊りなど楽しませて頂いている。又、介護相談員受け入れも行ない支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連絡を密にし、状態の変化など対応している。又、必要に応じて往診を行って頂いている。本人や家族の要望などある時は、家族の協力のもと希望する医療機関受診をお願いしている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関での定期受診、訪問診療、訪問歯科診療を受けて健康管理をしている。他科受診は家族の協力を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護やかかりつけ医との連携を密にとり、日々の健康管理や定期健診・必要時の受診など適切に対応している。必要時には、いつでも24時間対応して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は安心して過ごしてもらう為、見舞いや家族の相談にもより本人の状態を見ながら、病院関係者とも情報交換し利用者の不安の軽減に努めるとともに、早期の退院が出来るように支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者・家族の気持ちを汲み取り、主治医を含め状況の変化に応じて話し合う機会を設けている。今後もより一層家族との連絡・医療機関や他の各協力機関との連携等も深めながら本人の状態に合わせた支援を行っているよう取り組んでいきたい。	契約時に、重度化や終末期に際して、事業所が取り得る対応について説明し同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して家族と方向性を共有できるように取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生に備えて、応急手当など研修を受講している。また、緊急時のマニュアルもあり、いつでも見られるように掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時対応のマニュアルを作成し、定期的に避難訓練・消火訓練・夜間想定訓練を行っている。非常食の備蓄もしており、入居者や地域の方々の防災の一助けとなれるように努めている。</p>	<p>年2回、昼夜間想定避難訓練を実施している。そのうちの1回は運営推進会議参加者も一緒に行っている。隣接している民家からの火災を想定して訓練を行ったこともある。スプリンクラーが設置され防災設備も整っている。地域の民生委員の協力もあり、災害時の食糧等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格・個性に配慮した言葉かけや対応を意識している。職員会議やカンファレンス等でも、人格の尊重について話し合う機会がある。	年2回「認知症についてのケア研修」などの勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。援助が必要な時も、本人の気持ちを大切に考えて言葉かけや対応に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、利用者の言葉・行動等により、希望・関心・嗜好を見極め、利用者が選びやすい場面を作ったり、利用者の意思を尊重するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて生活ができるように、一人ひとりの体調に配慮しながらその日、その日の保隠忍の気持ちを尊重して出来るだけ個別性のある支援を行なっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみの自己決定ができる方は、衣類を選んで頂いている。できない方は、家族に話を聴いたり等して、職員が本人らしいのを考え選んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食や嗜好を活かして食事作りを心がけている。食事の片付けが出来る利用者は少ないが、テーブルの上で出来る事を積極的に参加して頂いている。食事制限がある場合でも食事を楽しめるように工夫している。	利用者の嗜好に配慮した献立を工夫している。月1回の外食や行事食も食事が楽しみなものになっている。利用者個々人の力を活かし、準備や後片づけを職員と一緒にしたりしている。家族も一緒にの食事会を計画している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事・水分量・体重を記録し職員が情報を共有している。入浴後は必ず水分補給を行い、一人一人の状態に応じて、飲み物を変え補水に努める工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施している。必要に応じては、かかりつけの歯科医訪問を依頼・相談しながら、支援の方法を学んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の状態にあった方法を検討し、安全にポータブルトイレやトイレの使用が行えるように支援している。排泄のパターンを職員が把握し声かけや誘導を行なっている。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、利用者の状態にあった方法を検討し、職員の声かけや誘導によるトイレでの排泄を大切にしている。食生活を工夫し、自然排便を大切にしている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や散歩・軽体操等により自然に排泄できるように取り組んでいる。必要に応じて、主治医に相談し快適な日常生活が送れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週三回行っているが、利用者の状態に応じて行っており、希望があれば入浴日以外にもその都度対応している。入浴されない時は、清拭を行なう等して清潔保持に努めている。	入浴は基本的には週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように対応している。入浴を拒む利用者には清拭や足浴などで状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調に気を配りながら、ゆっくりと休める環境作りに努めている。一人ひとりのこれまでの習慣を崩すことなく、気持ち良く眠れるよう、室温・寝具調整を行なっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用・用法・用量について理解し、変更があった場合も申し送りノートや日誌で確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人にあった役割や楽しみが何であるかを把握し、生きがいにつながるように支援している。又、園芸や料理・手芸その他の活動の中でお一人おひとりの力を発揮できるような場面作りにこころがけている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人の体調や天候をみて、近隣への散歩や月一回戸外レクリエーション（外食）へも出かけ、季節を肌で感じてもらい心身の活性につなげるよう支援している。	日常的には、体調などを考慮して散歩や買い物に出かけている。また月1回は外食に出かけたり、家族の協力で花見やドライブなどにも行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望される利用者に対しては、お金を所持していただき、それ以外の方は、施設でお預かりしている。いつでも使えるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望する利用者には、電話や手紙の支援を行っている。遠方に住む家族からの電話にも、本人がゆっくり話すことができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関ホールには、季節の花を飾るなど清潔さを保つよう毎日掃除し、また、湿度・温度・換気などの環境にも考慮し、居心地のいい環境作りをしている。又、カレンダーや壁飾り等季節に応じて一緒に作り、施設内においても季節感を味わえるよう工夫している。</p>	<p>共用の空間は木のぬくもりがあり、換気や採光に配慮し明るく清潔である。快適に生活できるように温度・湿度計で管理されている。行事の写真や手作り作品などを飾り眺めて楽しんでいる。畳コーナーやゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の広さが限られているが、利用者が利用しやすく落ち付ける位置を考えてソファやいすを設置している。気候の良い日は日光浴を楽しまれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時、本人やご家族と相談し、使い慣れた家具や品物を可能な限り持参して頂いている。入居後も本人が居心地よく生活できるためのものを準備するよう努めている。</p>	<p>ベッドや整理タンス・クローゼット・洗面台が設置してある。本人や家族と相談しながら家具や仏壇・写真など、本人が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>全フロアバリアフリーであり、廊下や風呂場等動線に合わせた手すり等の工夫がされ、安全に配慮されている。また、利用者の特性に合わせて戸惑い混乱が生じないように、目印や表札などを手作りし設置している。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない